

令和 3 年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事業報告書

経営理念

ともに生きる豊かな地域社会の実現を目指す
～「人の力」「地域の力」「つながりの力」を活かす社協～

目次

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業	2
1 安心生活見守り事業	2
(1) 安心生活見守り事業	2
2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）	9
3 地域福祉活動計画の推進	12
(1) 第3次地域福祉活動計画推進事業	12
4 小地域福祉活動	12
(1) 小地域福祉活動計画の策定	12
(2) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業	14
(3) 地区社会福祉協議会活動支援事業	14
5 ボランティア活動の推進	16
(1) ボランティアセンター事業	16
(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進	18
6 福祉教育（ふくし共育）推進事業	18
(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業	18
(2) 広報充実事業	19
(3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ	20
II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	20
1 総合相談事業の実施	20
(1) 生活困窮者自立支援事業	20
(2) 心配ごと相談事業	21
(3) 福祉金庫貸付事業	21
(4) 生活福祉資金貸付事業	22
(5) 墓地清掃サービス事業	24
2 日常生活自立支援事業	24
(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）	24
III 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～	25
1 介護保険サービス	25
(1) 訪問介護事業	25
(2) 受託訪問介護事業の推進	25
2 障害福祉サービス	25
(1) 障害福祉サービス事業	25
3 その他のサービス	26
(1) 日常生活用具貸与事業	26
(2) リフト付き自動車貸出事業	26
(3) 軽トラック貸出事業	26
(4) 福祉サービス適正化事業	27
(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度	27
IV 法人の基盤強化事業	27
1 福祉のまちづくり市民参加運営事業	27
(1) 理事会・評議員会の開催	27
(2) 会員加入の推進	31
2 社会福祉法人連絡会	32
(1) 社会福祉法人連絡会の主な活動内容	32
(2) 社会福祉法人連絡会の参加法人	32
3 基金・寄付事業	33
(1) 善意銀行運営事業	33

(2) 大田原市社会福祉協議会寄附	3 4
(3) 地域福祉基金造成事業	3 6
(4) 赤い羽根共同募金事業	3 6
3 その他	3 9
(1) 経営理念の策定について	3 9
(2) 被表彰者について	4 0

令和3年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

令和3年度、大田原市社会福祉協議会は、下記の3つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

平成30年度に大田原市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉活動計画を策定し、「市民参加の地域福祉推進」を目的として、地域との連携のもと計画の推進に取り組んでいます。

自分たちの住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」（互助・共助）を進めるための地区社会福祉協議会の計画、「小地域福祉活動計画」策定に平成30年度から取り組み、令和3年度には4地区が策定し、市内全地区で策定を終え、計画を推進しています。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に寄り添い、必要な支援を行っています。

他の取り組みとしては、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）」、福祉委員による小地域ネットワーク活動、ふくし共育推進事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動、介護保険サービスや障害福祉サービスなどを実施しました。

令和2年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響による、緊急の資金貸付など市民への相談支援活動に取り組みました。

また、組織としての明確な理念（軸）を作り、社協の使命、価値観、存在意義を示すための経営理念を策定しました。

=令和3年度重点事業=

- (1) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- (2) 小地域福祉活動計画の策定推進
- (3) 生活困窮者自立支援事業の充実

事業実施状況

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

(1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」の一部を大田原市から受託しています。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや生活支援などを、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、地域の見守り支援が必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

令和2年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）」や地区社会福祉協議会と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。

コロナ禍で、訪問での見守りに代わり外からの見守りや電話での安否確認など、利用者が孤立しないように工夫をしながら活動をしています。

見守り隊員数	2,516 人
利用者数	1,409 人
〈内訳〉	
ひとり暮らし	742
高齢者世帯	267
日中ひとり	253
日中高齢者世帯	69
その他	78

見守り件数	85,256 件
〈内訳〉	
1 声掛け安否確認	31,343 件
2 買い物支援	879 件
3 緊急時の通報	27 件
4 簡単な修繕	157 件
5 ゴミだし	643 件
6 役所の手続き	296 件
7 外からの見守り	49,119 件
8 外出手伝い	234 件
9 家事手伝い	288 件
10 その他	2,270 件

① 各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

隊の概要

発足式年月日	平成 22 年 3 月 16 日
自治会数	12 自治会
見守り利用者数	104 人
隊員数	96 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
6 月 8 日		第 1 回隊長会議（活動報告、活動計画等）	15 人
6 月 8 日	書面開催	第 1 回推進会議（活動報告、活動計画等）	—
3 月 15 日	書面開催	第 2 回隊長会議（活動報告、活動計画等）	15 人
毎月		助け合い隊便りの発行配布	

ii) 佐久山おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成 23 年 2 月 8 日
自治会数	17 自治会
見守り利用者数	143 人
隊員数	120 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5 月 12 日		チーム会議(隊長会議開催について)	10 人
6 月 3 日		チーム会議	10 人
6 月 9 日		第 1 回隊長会議（役員改選、見守り活動、事業報告、事業計画(案)）	35 人
6 月 19 日	書面開催	推進会議資料及び地区助成金配布(総隊長、主任)	—
7 月 21 日		視察研修：鹿沼市 居場所和久井亭訪問（協議体、地区社協合同研修）	7 人
11 月 13 日		人づくり講演会（協議体、地区社協合同研修）	45 人
12 月 24 日		チーム会議(おもいやりの会開催について)	10 人
1 月 25 日		大沢、佐久山南部自治会見守り利用者声掛け訪問	12 人
3 月 7 日		チーム会議(新旧隊長会議開催について)	10 人

iii) 紫塚地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 23 年 7 月 24 日
自治会数	7 自治会
見守り利用者数	80 人
隊員数	77 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事 業 内 容	参加人数
4 月 28 日		新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	19 人
5 月 18 日		大高 SSH 活動対応として、見守り事業のプレゼン実施	6 人
5 月 28 日		推進会議（活動報告、活動計画）	28 人
6 月 15 日		大高 SSH 対応にて、大高生との情報交換会	10 人
7 月 25 日		栄町支え合いマップづくり（第 1 回目）	17 人
10 月 17 日		栄町支え合いマップづくり（第 2 回目）	14 人
11 月 28 日		栄町支え合いマップづくり（第 3 回目）	14 人
12 月 4 日		沼の袋支え合いマップづくり（第 1 回目）	19 人
12 月 9 日		隊員研修会（認知症サポーター養成講座）	16 人
3 月上旬		利用者とのふれあい活動として、粗品とメッセージを隊員を通して配付	—
3 月 25 日		隊長会議（活動報告・活動計画他） （協議体リーダー会議と合同開催）	10 人

iv) ちかその思いやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成 24 年 11 月 30 日
自治会数	10 自治会
見守り利用者数	113 人
隊員数	124 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事 業 内 容	参加人数
4 月 5 日	書面開催	推進会議（活動報告、活動計画）	—
4 月 26 日		第 1 回 チーム会議	7 人
5 月 7 日		第 1 回 隊長会議	23 人
5 月 28 日		認知症学習講座	29 人
7 月 7 日		民生委員との情報交換会	11 人

10月22日		第2回チーム会議	6人
10月25日		見守り活動「訪問」開始	119人
12月16日		見守り活動「訪問」終了	—
2月10日		第3回 チーム会議	5人
3月30日		新旧隊長会議（隊長引継ぎ等）	22人

v) 西部地区あったか思いやりの会

会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	200人
会員数	122人

令和3年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
4月22日		チーム会議（R3事業原案検討）	8人
4月22日		地区会長会議（R3事業決定）	14人
5月10日	書面開催	推進会議	119人
3月17日		チーム会議（R4事業原案検討）	9人
3月17日		地区会長会議（R4事業決定）	11人

vi) 須賀川地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	109人
隊員数	109人

令和3年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5月13日		第1回隊長会議（推進会議役割分担、地区活動助成金、見守り組織の確認）	14人
5月13日		推進会議（委嘱状交付、前年度の決算・事業報告、今年度の事業計画・予算）	25人
7月20日		第2回隊長会議（今年度の事業計画・予算の確認、見守り状況）	18人
11月30日		須賀川地区認知症講座（認知症の事例・対応）	58人
3月15日		第3回隊長会議（今年度の活動実績・決算見込み、来年度の事業計画・予算案、年度初めの引継）	11人
		須賀川地区見守り隊便り発行（年6回）	—

vii) ゆづかみ見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 25 年 11 月 8 日
自治会数	13 自治会
見守り利用者数	95 人
隊員数	229 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
4 月 22 日		第 1 回チーム会議(役員改選、事業報告及び決算報告、事業計画・収支予算)	5 人
5 月 14 日	書面開催	第 1 回隊長会議(委嘱状交付、本隊役員、事業報告、事業計画、見守り活動記録、地区隊の活動助成金)	—
7 月 8 日		第 2 回チーム会議 今後の予定	4 人
7 月 21 日		第 2 回隊長会議 見守り利用者全員に粗品配布及び安否確認の徹底依頼。	13 人
12 月 24 日	書面開催	臨時隊長会議(ひとり暮らし高齢者への見守り強化依頼)	—
2 月 22 日		第 3 回チーム会議(見守り状況について、事業計画、役員の引継ぎ等)	5 人
3 月 3 日	書面開催	第 3 回隊長会議(見守り状況、事業報告、事業計画、隊員名簿等)	—
4 月 6 日～ 1 月 18 日		ささえ愛サロン「言ノ葉喫茶」毎週火曜日開催(26 回)	延べ 269 人

viii) 東部地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 25 年 11 月 19 日
自治会数	26 自治会
見守り利用者数	109 人
隊員数	590 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5 月 27 日		第 1 回隊長会議(事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等)	34 人
7 月 16 日		推進会議(委嘱状の交付等)、介護事業に関わる講話	52 人
8 月 24 日		子どもの見守り関係会議(児童の見守り体制等)	7 人

9 月 22 日	書面開催	第 2 回隊長会議（見守り活動状況、生活支、援体制整備事業の推進、災害発生時の緊急連絡網の作成等）	—
11 月 18 日		認知症サポーター養成講座	37 人
2 月 24 日	書面開催	第 3 回隊長会議（次年度事業計画案、見守り事業・生活支援体制整備事業の推進、各種報告書類等）	—

ix) 両郷地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 26 年 6 月 25 日
自治会数	12 自治会（9 地区隊）
見守り利用者数	93 人
隊員数	174 人

令和 3 年度事業経過

月 日	事 業 内 容	参加人数
11 月 4 日	隊長会議（見守り活動の確認、利用者、担当隊員の見直しについて）	30 人
3 月 23 日	隊長会議（令和 3 年度実績、決算書、令和 4 年度事業計画、予算書等）	16 人
4 月～1 月	居場所設置（全 8 回）	—

x) 川西地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 26 年 11 月 19 日
自治会数	15 自治会（18 地区隊）
見守り利用者数	139 人
隊員数	255 人

令和 3 年度事業経過

月 日	事 業 内 容	参加人数
年間	安心生活見守り事業、生活支援体制整備事業説明会（5 回）	—
5 月	書面開催 隊長会議（事業報告・計画、決算報告・予算書）	—
7 月	書面開催 推進会議（委嘱状交付、研修会）	—
5 月～7 月	小地域福祉活動計画策定委員会（5 回）	78 人
10 月 30 日	認知症サポーター養成講座（上町地区）	14 人
10 月～12 月	県コミュニティカレッジおひさまカフェ開催（4 回）	—
12 月 19 日	桧木沢ふれあい直売所 ふれあい祭り（自主財源確保）	—

毎月 2 回		おやまだいおひさまカフェ (9 回)	242 人
地区隊集いの場		築地カフェ、上町 PPKK の会、上町たんぽぽ会、下町 2 区カフェ、桧木沢カフェ、桧木沢サイプレス地区カフェ、大豆田カフェ、寒井南部カフェ、蜂巢カフェ	307 人
毎月発行		川西地区見守り隊便り 60 号 ～ 71 号	—

xi) 金田地区おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成 26 年 11 月 28 日
自治会数	26 自治会 (32 地区隊)
見守り利用者数	129 人
隊員数	387 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
4 月 14 日		おもいやり隊チーム会議	10 人
4 月 20 日		おもいやり隊新隊長会議	40 人
5 月 25 日		おもいやり隊推進会議 研修会「減災～災害にも強い地域づくりのために」	51 人
3 月 10 日		おもいやり隊チーム会議	10 人
3 月 15 日	資料配布	おもいやり隊隊長会議	—

xii) 野崎地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成 27 年 2 月 19 日
自治会数	11 自治会
見守り利用者数	115 人
隊員数	235 人

令和 3 年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5 月 13 日		第 1 回チーム隊長会議 (事業計画説明、他)	20 人
7 月 28 日		第 2 回チーム隊長会議 (コロナ禍での今後の取り組み)	17 人
11 月 26 日		第 3 回チーム隊長会議 (事業報告、他)	19 人
1 月 27 日	書面配布	第 4 回チーム隊長会議 (新年度役員選出依頼、他)	—
3 月 13 日		野崎ニュータウン地区事前説明会開催	15 人
3 月 24 日	書面配布	第 5 回チーム隊長会議 (事前説明会日程調整、他)	—

4月～7月		居場所活動（野崎 NT・上薄葉・薄葉団地、他）	計 327 人
10月～1月		※ コロナ感染拡大防止のため一部月自粛	

② 安心生活見守り事業 会議等

月 日		内 容	会 場
2月14日	書面開催	安心生活見守り事業推進会議	—

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では令和2年度に市高齢者幸福課と覚書を交わし、市社協窓口での申請受付並びに、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和3年度配布本数 54本

2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）

市からの受託事業である「ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、第2層コーディネーターの配置と、支え合いの地域づくりを進める協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。コロナ禍の中で令和2年度は、開催ができなかった会議が多数ありましたが、協議体だよりの発行や、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携して進められるよう地域の実情に合わせた支え合いの地域づくりのための話し合いを進めています。

○各地区の状況

①東部地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5月14日		人材データベース、小地域福祉活動計画の進捗状況、啓発用リーフレットの作成と配布作業、ささえ愛サロンの再開等について	21 人
12月9日	書面開催	地域課題のまとめ、今後重点的に取り組む課題、支え合いの地域づくりハンドブック〈仮称〉の作成方針の提案等について	—
3月17日	書面開催	地域課題のまとめ、今後重点的に取り組む課題、支え合いの地域づくりリーフレットの編集等について依頼	—

②西部地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
-----	--	------	------

4月30日		地域の課題の洗い出し	32人
5月20日		目指す地域像候補の検討	28人
6月24日		目指す地域像の決定	27人
7月29日		地域課題150件の目標別グループワーク	27人
10月4日		(A) グループワーク（地域づくり、体制づくり、人づくり）	12人
10月7日		(B/・C) グループワーク（地域づくり、体制づくり、人づくり）	16人
10月18日		代表者会議 具体的な計画の内容について	10人
11月8日		代表者会議 計画の内容確認・まとめ	10人
12月8日		小地域福祉活動計画最終案の決定	25人

③紫塚地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5月21日		今後の進め方について(全体)/グループワーク	22人
7月16日		グループワーク(仕組みづくり・人づくり・機会づくり)	19人
9月17日		コロナ対応としてリーダー/サブリーダー会議	9人
11月19日		講演会：居場所等実践者の活動発表	22人
3月25日		協議体リーダー会議(隊長会議と合同開催)	10人

④金田地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5月12日		地域の課題の洗い出し、絞り込み	10人
6月15日		課題を3つの目標に絞り込み	25人
7月15日		具体的な取り組み、計画書全体の内容を検討	29人
8月20日		計画目標の原案、計画書全体について	17人
10月13日		最終原案の検討	20人
1月25日		令和4年度協議体の進め方	16人

⑤親園地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
1月24日		親園地区協議体メンバー会議研修会事前打合せ	6人
2月10日		親園地区協議体メンバー会議研修会	5人
2月25日	資料送付	親園地区協議体メンバー研修会	—
*：小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催			

⑥野崎地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5 月 13 日		主たる目標に向けた具体的行動案の抽出①	22 人
7 月 28 日		主たる目標に向けた具体的行動案の抽出②	22 人
9 月 30 日	資料配布	主たる目標に向けた具体的行動案の抽出③	—
11 月 26 日		5W2Hに基づく具体的進め方の抽出①	21 人
1 月 27 日	資料配布	5W2Hに基づく具体的進め方の抽出②	—
6 月～1 月	6 回開催	小地域福祉活動に伴う地区社協との協議 ※ 協議体・見守り隊を地区社協組織に統合する	延べ 56 人

⑦佐久山地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
6 月 16 日		現状把握と課題抽出（外出支援事業の取り組み、自治会のあり方、人づくりの取り組み、学校跡地の活用）	26 人
11 月 2 日		活動発表（足利市総合福祉センターにて） 地域支え合い型移動サービスについて	7 人
11 月 24 日		課題の見直しと対策検討（仲間を増やす工夫について）	23 人
1 月 19 日		課題の見直しと対策検討 （ボランティア人材の確保に向けて）	24 人
12 月 3 日		視察研修：外出支援について （岩手県北上市黒岩地区「あすの黒岩を築く会」）	5 人

⑧湯津上地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
12 月 10 日		市内の移動支援、他地区の協議体活動状況、知恵袋バンク冊子の活用、居場所づくり	11 人
3 月 18 日	書面開催	協議体の活動計画	—

⑨黒羽地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
12 月 2 日		生活支援体制整備事業について、見守り活動等の情報交換	14 人

⑩川西地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
毎月 1 回		おやまだい未来カフェ（情報交換会） 8 回	延べ 74 人
3 月 29 日		おやまだい未来カフェ（勉強会）	13 人

⑪両郷地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
-----	--	------	------

5 月 20 日		小地域福祉活動計画 川西地区との合同研修会	26 人
5 月 20 日		小地域福祉活動計画策定の進め方、課題の抽出について	11 人
6 月 24 日		地域課題の洗い出し	13 人
7 月 28 日		目指す地域像、課題の分析	22 人
10 月 25 日		目指す地域像の決定、目標と取り組み内容の検討	21 人
12 月 10 日		小地域福祉活動計画編集内容の報告、詳細確認	18 人

⑫須賀川地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5 月 2 5 日		小地域福祉活動計画、地区の課題と対応、見守り事業への協力	14 人
1 0 月 5 日		地区行事協力（買い物ツアー中止）地区課題解決に向けて	11 人
1 月		小地域福祉活動計画の評価（アンケート）	35 人
3 月 1 5 日	書面開催	小地域福祉活動計画の評価（アンケートまとめ）	—

3 地域福祉活動計画の推進

(1) 第 3 次地域福祉活動計画推進事業

第 3 次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和元年度～令和 5 年度）の 3 年目の取り組みとして、次のとおり実施しました。

① 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

日 時： 令和3年10月22日（金）午後1時30分～3時10分

場 所： 市役所南別館 2階

参加者： 推進委員 23名

内 容： ・説明 「取り組み状況調査における委員からの意見まとめ」について
・講話 国際医療福祉大学教授 林 和美 氏

② 「第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会だより」の作成

4 小地域福祉活動

(1) 小地域福祉活動計画の策定

令和 2～3 年度の 2 年間で西部地区、金田地区、川西地区、両郷地区の 4 地区の社協において小地域福祉活動計画の策定に取り組みました。

○西部地区

4月30日	策定の進め方について	32人
5月20日	目指す地域像についての話し合い	28人
6月24日	地域課題の洗い出し	27人
7月29日	目標づくり	27人
10月4・7日	課題解決のための話し合い	28人
10月18日	グループリーダーによる課題解決の整理	10人
11月8日	グループリーダーによる目標整理	10人
12月8日	計画書全体の内容検討、計画の進め方	25人

※協議体と合同会議

○金田地区

5月12日	新たな課題と課題の整理	29人
6月15日	目標づくり	25人
7月15日	課題解決のための話し合い	29人
8月20日	代表者による計画書全体の内容検討	12人
10月13日	計画書全体の内容検討、計画の進め方	20人

※協議体と合同会議

○川西地区

5月20日	川西地区・両郷地区合同研修会「地域を見つめ、地域をつくる」	
5月20日	策定の進め方について、委員長選任	19人
6月21日	地域課題の洗い出し、目指す地域像について	15人
7月29日	地域課題の分析	19人
10月26日	目標と取り組み内容の検討	17人
12月8日	グループの代表者による編集作業	11人
1月21日	編集した計画の確認	15人

○両郷地区

5月20日	川西地区・両郷地区合同研修会「地域を見つめ・地域をつくる」	
5月20日	策定の進め方について、課題の抽出について	11人
6月24日	地域課題の洗い出し	13人
7月28日	目指す地域像、課題の分析	22人
10月25日	目指す地域像の決定、目標と取り組み内容の検討	21人
11月24日	代表者での編集	10人
12月10日	編集内容の報告、詳細確認	18人
1月28日	地区社協理事会での承認（書面開催）	

※協議体と合同会議

(2) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により172名が活動を行ないました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行ないました。

① 福祉委員活動の地区ごとの連絡網を作成

② 福祉委員・民生委員合同研修会の開催

地域福祉の推進役である福祉委員と身近な相談役である民生委員児童委員が今の地域福祉の課題にふれ、コロナの状況下でも気をつけ、つながりあえる地域づくりのきっかけとなるように開催しました。

日 時：令和3年7月6日（火）1回目 午後1時～ 2回目 午後3時20分～

場 所：大田原市ピアートホール

参加者：192名

内 容：・活動発表「コロナ下でもできるわたしたちの地域福祉活動」

・事例の紹介及び説明

「地域共生社会を実現するために

おおたわらの地域の課題からわたしたちにできること」

(3) 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりです。

① 活動助成の内容

地区社会福祉協議会（団体名）	助成額	活動内容
大田原東部地区社会福祉協議会	546,250 円	東部地区小地域福祉活動計画の推進 ふれあい広場、食事サービス 「東部社協だより」の発行
大田原西部地区社会福祉協議会	626,750 円	西部地区小地域福祉活動計画の策定 あったか広場、食事サービス 「あったかだより」の発行 等
紫塚地区社会福祉協議会	281,250 円	紫塚地区小地域福祉活動計画の推進、ふれあい紫広場、食事サービス、視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	676,875 円	金田地区小地域福祉活動計画の策定 食事サービス、研修会 等

親園地区社会福祉協議会	212,750 円	親園地区小地域福祉活動計画の策定 食事サービス、「親園福祉だより」の発行
野崎地区社会福祉協議会	403,000 円	野崎地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス 「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	161,750 円	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、「佐久山社協だより」の発行 佐久山地区外出支援事業
湯津上地区社会福祉協議会	241,000 円	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、世代間交流事業 地区社協だより「ゆうあい」の発行、ふれあい友愛広場
黒羽地区社会福祉協議会	238,500 円	黒羽地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、ふれあいサロン（ひとり暮らし高齢者会食会-川西地区社協と合同） 「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	283,250 円	諸地域福祉活動計画の策定 食事サービス、「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会の支援
両郷地区社会福祉協議会	126,500 円	小地域福祉活動計画の策定 学校安全パトロール、食事サービス 地区社協だより発行、見守り支援等
須賀川地区社会福祉協議会	112,750 円	須賀川地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、視察研修等
合計	3,910,625 円	

※ 令和3年度は新型コロナウイルスのため中止したものもあります。

② 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行ないました。配布活動は見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。

No.	助成対象団体	令和3年度実績				前年度
		助成金額 ③実績額	配食数	対象者数	実施回数	配食数
1	東部地区社会福祉協議会	183,200	458	47	10	319
2	西部地区社会福祉協議会	321,600	804	40	20	0

3	紫塚地区社会福祉協議会	612,400	1,532	60	30	1,667
4	金田地区社会福祉協議会	196,800	492	50	24	533
5	親園地区社会福祉協議会	137,200	343	17	24	209
6	野崎地区社会福祉協議会	118,800	297	6	48	421
7	佐久山地区社会福祉協議会	385,600	964	30	34	427
8	湯津上地区社会福祉協議会	231,600	579	50	12	422
9	黒羽地区社会福祉協議会	228,400	571	58	10	373
10	川西地区社会福祉協議会	225,200	563	90	6	554
11	両郷地区社会福祉協議会	134,800	337	40	8	186
12	須賀川地区社会福祉協議会	86,400	216	54	4	209
13	大田原市ボランティア連絡協議会 黒羽支部	217,200	543	82	6	565
	合 計	3,079,200	7,699	624	236	5,885

(助成総額 3,079,200円：共同募金配分)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため休止した期間があった。また、感染防止のための消毒剤、ビニール手袋を各地区に配布した。

5 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター事業

① 中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原

感受性豊かな中高生が、大田原市の現状や福祉の未来を考え、あらゆる人が安心安全に暮らすことができる福祉のまちづくりの方法などについて学ぶことで、これからの地域を担っていく一人となれるよう、地域の多様な方々に実行委員となっていていただき進めました。

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインで「嫌なことから逃げちゃダメなの？」～生きづらさや自分たちの幸せ（福祉）について話してみよう、聞いてみよう～をテーマに実施しました。

テ ー マ：「嫌なことから逃げちゃダメなの？」

～生きづらさや自分たちの幸せ（福祉）について話してみよう、聞いてみよう～

実施方法：Zoom

日 時：令和3年12月11日（土）13：30～15：30

参加者：9名

②市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動への連携・協力を行ないました。

③ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
基本プラン	350 円	1,040 万円	4,129 人	4,094 人
天災・地震 補償プラン	500 円	1,040 万円	131 人	142 人
計			4,260 人	4,236 人

④ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行ないました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行ないました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談・コーディネート
	団体数	登録者数		
令和3年度	132 団体	4,257 名	15 名	55 件

⑤ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用数	品 目	延べ利用数
車いす	4 台	移動式スクリーン	0 脚
アイマスク	0 枚	書籍等	0 冊
点字盤	0 台	その他	
点字プリンター	0 台	・ハンドマイク	2 本
杖（T字型）	0 本	・誘導棒	15 本
CDプレイヤー	0 台	・バインダー	10 枚
プロジェクター	2 台	・その他	1 件

(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

① 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時に被災者の支援として開設される災害ボランティアセンターが迅速かつ円滑に開設できるように、日頃から関係団体・機関等のつながりづくりを進めるため、平時の活動として開催しました。

実施日 令和3年11月22日（月）午後3時分～4時30分

会場 大田原市役所302会議室

協議内容 ・災害ボランティアセンター配置図（案）について
・コロナ禍における災害ボランティアセンター運営について
・情報交換 他

参加団体 民生委員児童委員協議会連合会、ボランティア連絡協議会、那須野ヶ原青年会議所、市（福祉課、危機管理課）、市社会福祉協議会

6 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

① 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成29年度に第6回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（595部）、4年生（593部）、及び中学1年生（642部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

② 学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者の方や社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行ないました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活

動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・生徒の相談に応じました。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校名	対象	参加者数	協力人数	内容
1	7月12日	金丸小	5年生	19名	4名	認知症に優しい地域を考えよう
2	7月13日	黒羽小	5年生	25名	4名	災害と助け合いに関する講話
3	7月13日	佐良土小	4年生	10名	1名	認知症に優しい地域を考えよう
4	7月15日	親園小	4年生	24名	6名	障がい当事者と交流しよう
5	7月15日	羽田小	4年生	12名	1名	「障がい当事者と学ぼう」講話と交流
6	7月16日	湯津上中	3年生	35名	2名	地域で活動する方のお話を聞こう
7	8月31日	須賀川小	3・4年生	14名	2名	認知症に優しい地域を考えよう
8	11月9日	宇田川小	4年生	15名	4名	「障がい当事者と学ぼう」講話と交流
9	11月11日	薄葉小	4年生	44名	5名	地域で活動する方と交流しよう
10	12月9日	両郷中央小	5年生	19名	3名	認知症に優しい地域を考えよう
11	12月10日	奥沢小	5年生	14名	3名	認知症に優しい地域を考えよう
合計				231名	35名	

(2) 広報充実事業

① 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」を発行、裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の活動内容の紹介、及び地域みなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努めました。(年4回市内全戸配布)

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域でのつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛けて作成、児童・生徒に配布しました。(9月に小・中学校を通じて配布)

② ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ(URL: www.ohtawara-shakyo.or.jp/)により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程実習生を受け入れました。実習生への指導やアドバイスを行うことで、社協職員の OJT¹等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科

4 名 8 月 16 日～9 月 16 日（24 日間）

Ⅱ 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

○相談件数（※令和3年度に新たに受け付けた件数です。）

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障がいのこと	0 件	9	地域との関係について	0 件
2	住まいのこと	1 件	10	家族関係・人間関係	0 件
3	収入・生活費のこと	61 件	11	子育て・介護のこと	0 件
4	家賃やローンのこと	0 件	12	ひきこもり・不登校	0 件
5	税金や公共料金のこと	0 件	13	DV・虐待	0 件
6	債務について	0 件	14	食べる物がない	2 件
7	仕事探し、就職について	2 件	15	その他	1 件
8	仕事上の不安やトラブル	0 件		計	67 件

○支援実施延べ回数※令和4年3月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	110 回
2	訪問同行・支援	47 回
3	面談	144 回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	15 回
5	他機関との電話照会・協議	13 回
6	その他	15 回

¹ OJT : On-the-Job Training（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）または現任訓練（げんにんくんれん）とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

(2) 心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごととの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、市役所A別館及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場 所
大田原	毎週金曜日	9:00～12:00	市役所A別館
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター
黒 羽	毎月第3木曜日	9:00～12:00	社協黒羽支所

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数16件）相談者16名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計		職業・生業・就職	1	家族	8	健康衛生		医療		人権・法律	
年金	1	住宅	2	結婚		離婚		事故		財産	1
精神衛生		児童福祉		教育・青少年		心身障害		老人福祉	1	母子福祉	
その他	2	苦情									

(3) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円または3万円を限度に貸し付けをする制度として実施しています。

○貸付・償還状況（令和3年度）

前年度末残額 A		1, 102, 577 円	前年度償還未済額 1, 105, 970 円
令和3年度	貸付金額 B	699, 000 円	新規貸付件数 35 件
	償還金額 C	926, 000 円	償還完了件数 48 件
	不納欠損額 D	248, 970 円	不納欠損件数 14 件
	預金利子 E	12 円	預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	1, 329, 589 円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

相談件数 64件

※年度末貸付償還未済額は 630, 000円

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況（令和3年度）

貸付	新規貸付 0件	
償還	償還中 34件	総合支援資金5件 福祉資金（福祉費）3件 緊急小口資金9件 教育支援資金11件 離職者支援資金1件 臨時特例つなぎ資金1件 緊急小口資金(台風特例)1件 療養介護等資金1件 福祉資金（障害者自動車購入費）2件
	償還完了 9件	
	償還免除 0件	
相談	63件	貸付に関する相談

○生活福祉資金（特例貸付新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入の減少があり生活資金でお悩みの世帯に向けた、緊急小口資金等特例貸付を実施しました。

◆受付件数

生活福祉資金特例貸付(コロナ特例) 各種相談・申請者数 (R3.4月～R4.3月)																
年度	月	コロナ関係 相談者数	緊急小口資金			総合支援資金				住居確保給付金			生活福祉資金相談 者数	福祉金庫		フードバンク 利用者
			相談数	新規申請	(内)追加申請	相談数	新規申請	延長申請	再貸付	相談者数	申請者数	相談		貸付		
令和3	4月	58	25	24	1	33	15	9	9	3	1	0	4	3	10	
	5月	42	17	17	0	25	13	13	3	6	0	4	4	2	14	
	6月	54	25	21	1	29	12	11	9	6	2	3	4	1	6	
	7月	36	15	11	0	21	10		7	5	0	4	9	4	14	
	8月	54	17	11	0	37	17		11	8	1	1	7	4	5	
	9月	40	10	7	0	30	8		14	12	2	7	8	4	6	
	10月	55	24	12	0	28	6		12	12	1	2	2	3	6	
	11月	36	10	5	0	27	8		12	9	1	8	8	3	9	
	12月	34	15	5	0	20	5		5	14	1	8	6	3	8	
	1月	33	19	9	1	10	3			19	3	9	7	6	7	
	2月	41	29	11	0	12	9			28	2	1	2	1	10	
	3月	59	35	20	0	24	13			29	0	16	3	0	10	
累計		542	241	153	3	296	119	33	82	151	14	63	64	34	105	

緊急小口資金	153	件	27,800,000円
総合支援資金	119	件	53,000,000円
総合支援資金 延長	33	件	14,370,000円
総合支援資金 再貸付	82	件	35,220,000円
合計			130,390,000円

(5) 墓地清掃サービス事業

墓の清掃やお参りが困難な方々のために、就労に向けて相談をしている方々が清掃を代行しました。

利用者	回数	内 容
高齢者（宮城県在住）	2	お盆前の清掃、秋彼岸前の清掃
遠距離者（兵庫県在住）	2	秋彼岸前の清掃、春彼岸前の清掃
高齢者（黒羽在住）	2	お盆前の清掃、春彼岸前の清掃
高齢者（中央在住）	1	お盆前の清掃
高齢者（埼玉県在住）	1	秋彼岸前の清掃、供花、御線香
遠距離者（東京都在住）	2	お盆前の清掃、年末の清掃
高齢者（小滝在住）	1	春彼岸前の清掃
計 7 名	1 1	

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理支援、書類等預かりを行う日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和3年度	利用者集	備 考
年度当初	83名	
新規契約	11名	
解約	11名	死亡4名、施設管理4名、自己管理1名、移管1名、保佐人管理1名
令和3年度末	83名	

・専門員 3人・生活支援員 25人（社協職員7人含む）

（内訳：大田原15人、湯津上4人、黒羽6人）

・主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（預貯金のおし入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	令和 3 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	16,653,974 円	17,891,880 円	93.0%
年間延べ利用者数	685 人	726 人	94.3%
月平均利用者数	57 人	61 人	93.4%
ホームヘルパー数	15 人	16 人	93.7%

(2) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託し、訪問介護事業を実施しました。

	令和 3 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	0	8,000 円	0
年間延べ利用者数	0	1 人	0
月平均利用者数	0	0.08 人	0

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○障害福祉サービス（居宅介護）

	令和 3 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	11,092,262 円	9,751,624 円	115.80%
年間延べ利用者数	281 人	258 人	108.90%
月平均利用者数	23.4 人	21.5 人	108.80%

○同行援護サービス

	令和 3 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	848,293 円	872,364 円	97.20%
年間延べ利用者数	51 人	59 人	86.40%
月平均利用者数	4.25 人	4.92 人	86.30%

○移動支援

	令和 3 年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	125,500 円	85,150 円	147.30%
年間延べ利用者数	7 人	4 人	175%
月平均利用者数	0.58 人	0.33 人	175.70%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子などを無償貸与しました。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	32件	115件	22台	35台
湯津上支所	0件	5件	0台	3台
黒羽支所	24件	37件	13台	14台
計	56件	157件	35件	52件

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

○リフト付き自動車貸出件数 79回

(3) 軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

○軽トラック貸出件数 8件

(4) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また6名の委員による第三者委員会を設置しています。

(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として市から事業を受託しました。

○与一いきいきメイト養成講座

期 間 令和3年7月7日～11月10日（8回）

受講者数 9名

○与一いきいきメイト登録者 99名

○いきいき活動受入施設 ほほえみセンター等 25箇所

○与一いきいきメイトフォローアップ研修

日 時 令和3年11月30日 午後1時30分～4時15分

場 所 大田原市役所 101・102 会議室

参加者 与一いきいきメイト 26名

内 容

・講話 与一いきいき体操・コグニサイズについて

講師 国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科 石坂 正大氏

・グループワーク 「いきいき活動に取り組んで」

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会

第1回理事会

1 開催日時：令和3年5月28日（金）午後1時30分～3時30分

2 会 場：大田原市役所南別館会議室

報 告

報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執状況報告について

報告第2号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

議 案

議案第1号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第3号）について

- 議案第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について
- 議案第 3 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算報告の承認について
- 議案第 4 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について
- 議案第 5 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 1 回評議員会の開催について
- 議案第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員候補者の確認について

第 2 回理事会

- 1 開催日時：令和 3 年 6 月 22 日（火）午後 1 時 30 分～2 時 30 分
- 2 会 場：大田原市役所 301、302 会議室

報 告

- 報告第 3 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について
- 報告第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の 選任について（専決事項）
- 報告第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会 の開催について（専決事項）

議 案

- 議案第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の選任について
- 議案第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会地域福祉基金運営委員の選任について
- 議案第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の確認について

第 3 回理事会

- 1 開催日時：令和 3 年 12 月 16 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- 2 会 場：大田原市役所南別館会議室

報 告

- 報告第 6 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について
- 報告第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について
- 報告第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）
- 報告第 9 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について（専決事項）
- 報告第 10 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰の実施について

議 案

- 議案第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 1 1 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 1 2 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

議案第 1 3 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 2 回評議員会の開催について

第 4 回理事会（書面決議）

1 開催日時：令和 4 年 3 月 1 1 日（金）午後 1 時 3 0 分～3 時 0 0 分

2 会 場：大田原市役所南別館会議室

報 告

報告第 1 1 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 1 2 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）について（専決事項）

議 案

議案第 1 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業 等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 1 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務状況等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 1 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 1 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 1 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会表彰要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 1 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会日常生活用具貸与事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 2 0 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会軽トラック貸出要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 2 1 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行設置規程の制定について

議案第 2 2 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行運営要綱の制定について

議案第 2 3 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会ボランティアセンター設置運営要綱の制定について

議案第 2 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について

議案第 2 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉委員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 2 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 2 7 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画案について

議案第 28 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算案について

議案第 29 号 令和 3 年度第 3 回社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員 会の開催について

評議員会

第 1 回評議員会

1 開催日時：令和 3 年 6 月 11 日（金）午前 10 時 00 分～正午

2 会 場：大田原市役所 102 会議室

報 告

報告第 1 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

議 案

議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 3 号）について

議案第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 3 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算報告の承認について

議案第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員選任について

第 2 回評議員会

1 開催日時：令和 3 年 12 月 23 日（木）午前 10 時 00 分～正午

2 会 場：大田原市役所 301, 302 会議室

報 告

報告第 2 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 3 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について（専決事項）

報告第 4 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について（専決事項）

報告第 5 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰の実施 について

議 案

議案第 5 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 6 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員等の勤務条件に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 7 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事の選任について

第 3 回評議員会

1 開催日時：令和 4 年 3 月 24 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 00 分

2 会 場：大田原市役所 301、302 会議室

報 告

報告第 6 号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第 7 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）につ

いて（専決事項）

議 案

- 議案第 8 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業 等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 9 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務状況等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第 10 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 11 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 12 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会表彰要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 13 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会日常生活用具貸与事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 14 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会軽トラック貸出要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 15 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行設置規程の制定について
- 議案第 16 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行運営要綱の制定について
- 議案第 17 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会ボランティアセンター設置運営要綱の制定について
- 議案第 18 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第 19 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉委員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 20 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第 21 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画案について
- 議案第 22 号 令和 4 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算案について
- 議案第 23 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の選任について

(2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めました。

○会員加入の状況（令和3年度）

会費の種類	会費 1 口	会員数	会費納入額	前年比	前年
普通会費	500 円	15,642 件	7,821,250 円	99%	7,923,000 円
特別会費	1,000 円	638 件	988,000 円	95%	1,043,000 円
賛助会費	5,000 円	26 施設	130,000 円	74%	175,000 円
計			8,939,250 円	98%	9,141,000 円

2 社会福祉法人連絡会

平成30年10月から大田原市内の14社会福祉法人の参加で、法人本来の事業に加えて、地域のための公益活動を進めています。

(1) 社会福祉法人連絡会の主な活動内容

① 設備、備品の貸出

法人の施設設備、備品を活用するため、地域の皆様に貸し出します。

② 地域出前講座講師派遣

法人の職員が、地域の講座や研修に出向きます。

③ ふくし総合相談

法人の業務範囲に留まらず、地域の皆様からの相談に幅広く対応します。

④ 広報活動

サポートガイド、広報紙の発行

(2) 社会福祉法人連絡会の参加法人

(福) あいのかわ福祉会 (那須共育学園 他)

(福) 安寧 (山百合荘 他)

(福) エルム福祉会 (エルムの園、SELPみなど、ヒカリノカフェ 他)

(福) 謙心会 (にちにちそう 他)

(福) 心美会 (保育園 ベビーエンゼル)

(福) 至誠会 (晴風園、みどりの郷)

(福) 千騎会 (おおたわら保育園)

(福) 章佑会 (やすらぎの里、若草園 他)

(福) ひかり会 (ひかりのぞき保育園、ひかりうすば保育園)

(福) フレンズ会 (保育園チャイルド)

(福) 邦友会 (風花苑 他)

(福) 窓の陽 (ふるさとホーム那須、那須愛恵苑 他)

(福) 同愛会^{どうあいかい} (四季の風、かねだの里 他)

(福) 大田原市社会福祉協議会

3 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

令和3年度 預託の状況

①金銭預託

金 銭 預 託	収 入 の 部	科目	金額	預託者(敬称略)	
		前年度繰越金	4,348,426 円		
		預託金額	200,000 円	大田原ロータリークラブ	
			700 円	匿名	
			3,500 円	渡部 裕季子	
		預金利息	42 円		
		合計	4,552,668 円		
	支 出 の 部	科目	金額	配分先	
		配分金額	271,360 円	市ボランティア連絡協議会	133,120 円
				大田原市身体障害者福祉会	97,280 円
				大田原市いきいきクラブ	40,960 円
		199,810 円		ささえ愛きずなセット×88 (子 の生活困窮世帯へ配布)	55,310 円
				次亜塩素酸水 25 箱 (市内幼稚 園、保育園 25 か所へ納入)	144,500 円
		合計	471,170 円		
	収入支出差引残高		4,081,498 円		

② 物品預託

	寄付者氏名(敬称略)	預託物品		使途
1	吉成 トミ子	紙おむつ	2袋	社協黒羽支所にて保管 (事業係で使用)
3	キヤノンメディカルシステムズ労働組合 キヤノン電子管デバイス労働組合	タオル	100本	福祉施設・保育園へ配布
4	山下 陽子	シーツ、タオル等	106点	福祉施設・保育園へ配布
5	野田新聞店(有)ノダネットワークサービス	生活雑貨	多数	生活困窮者世帯へ配布
6	連合栃木那須地域連合会	タオル	80本	福祉施設・保育園へ配布
7	藤田 カツノ	シトラスリボン	500個	本所にて来所者に配布
8	威徳院	福祉委員パンフレット	700枚	民生委員、福祉委員へ配布
9	株式会社エヅリン	電化製品5点、	5点	生活困窮者世帯へ配布
		ベット	1台	生活困窮世帯等へ配布
10	西地区公民館利用者	タオル	17本	福祉施設・保育園へ配布
11	ダイナム栃木大田原店	食料品、生活用品	109点	生活困窮世帯等へ配布
12	北関東雪印メグミルク協会	車いす	1台	貸出用として使用
14	池沢 正美	車いす	1台	貸出用として使用
15	野田新聞店(有)ノダネットワークサービス大田原 グラウンドゴルフ愛好者	車いす	1台	貸出用として使用
16	匿名	飲料ケース	20箱	生活困窮世帯等へ配布
17	安部 広伸	電動ベット	1台	社協黒羽支所にて貸出用として使用
18	(株)カナメ	カレンダー	30本	相談者、利用者へ配布
19	匿名	手作りマスク	16枚	社協にて保管
		不織布マスク	2箱	社協にて保管

(2) 大田原市社会福祉協議会寄附

大田原市の地域福祉推進のため、市民等から寄せられた寄付を事業費として適正に運用しました。

			敬称略
No.	寄付者氏名	寄付金額	令和3年度累計
1	吉澤 輝雄	691円	691円
2	社会福祉法人エルム福祉会エルムの園利用者一同	2,181円	2,872円
3	関東西濃運輸労働組合大田原分会	70,000円	72,872円
4	(匿名)	5,000円	77,872円
5	(匿名)	3,000円	80,872円
6	とんかつれすとらんたちばな大田原店	7,548円	88,420円
7	大田原市建設業協同組合	20,000円	108,420円
8	大田原市グラウンド・ゴルフ協会	60,000円	168,420円
9	連合栃木那須地域協議会	12,000円	180,420円
10	(匿名)	1,000円	181,420円
11	(匿名)	10,000円	191,420円
12	社会福祉法人エルム福祉会エルムの園利用者一同	2,582円	194,002円
13	(匿名)	10,000円	204,002円
14	大田原阜月会	53,793円	257,795円
15	(匿名)	10,000円	267,795円
16	(匿名)	10,000円	277,795円
17	新泉 洋子	10,000円	287,795円
18	大田原市ゴルフのまちづくり実行委員会	10,000円	297,795円
19	大田原市総務課	83,929円	381,724円
20	栃木県大衆音楽家協会県北支部	20,000円	401,724円
21	(匿名)	1,000円	402,724円
22	大田原市くらしの会	3,000円	405,724円
23	那須スポーツパーク グラウンド・ゴルフ ホールインワン基金	90,000円	495,724円
24	大田原市文化協会ステージ部市民芸能大会 花柳喜乃治	40,000円	535,724円
25	(匿名)	10,000円	545,724円
26	斉藤 哲夫	10,000円	555,724円
27	斉藤 信恵	10,000円	565,724円
28	黒澤自動車	30,000円	595,724円
29	長嶋之夫	30,000円	625,724円
30	スターライト友の会	10,831円	636,555円
31	黒羽商工会青年部	40,000円	676,555円
32	カラオケスタジオ 一ちゃん	20,000円	696,555円
33	JAM栃木JUKI労働組合大田原支部	20,000円	716,555円
34	大田原生活学校 小西 久美子	30,000円	746,555円
35	(匿名)	3,000円	749,555円
36	(匿名)	10,000円	759,555円
37	(匿名)	1,000円	760,555円
38	(匿名)	4,000円	764,555円

(3) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

○ 基金運用状況

科目	金額	摘要	
前年度末基金原資残高 ①	196,293,500 円		
令和 3 年度 寄付金額 ②	48,279 円	大手商店会	745 円
		御菓子司いづみ	1,712 円
		まつや薬局	5,822 円
		日本キリスト教団 西那須野教会	10,000 円
		栃木県 ボランティア連絡協議会	30,000 円
預金利息 等 ③	1,400,916 円	国債、公債利息	1,394,000 円
		定期預金利息	6,858 円
		普通預金利息	58 円
区分間繰入金支出 ④	15,390,000 円	令和 3 年度原資取崩額	14,000,000 円
		預金利息分繰出	1,390,000 円
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④	182,352,695 円	定期預金等へ繰出	

(4) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10 月 1 日から 12 月 28 日までの期間、募金活動を行ないました。令和 3 年 8 月 26 日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

○令和 3 年度共同募金実績一覧

(単位：円)

募金名	件数	募金実績額	目標額	差引額	達成率
戸別募金	16,005件	5,602,920円	5,390,000円	212,920円	103.95%
特別募金	1,144件	2,981,334円	2,815,000円	166,334円	105.91%
学校募金	45件	520,659円	478,000円	42,659円	108.92%
街頭募金	34件	210,199円	196,000円	14,199円	107.24%
職域募金	67件	614,492円	520,000円	94,492円	118.17%
イベント募金等	26件	225,867円	245,000円	-19,133円	92.19%
合計	17,321件	10,155,471円	9,644,000円	511,471円	105.30%

令和3年度募金からの配分：令和4年度の配分予定は 6,825,471 円

○共同募金配分金事業

令和3年度は実績に応じて、県共同募金会からB募金配分6,882,376円、指定配分300,000円（安心生活支援プロジェクト配分）が大田原市社協に配分されました。

○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

審査委員会

令和4年1月25日（火）審査会を実施しました。

☆助成対象（助成は令和4年度に実施します。）

NO.	団体名	申請事業	申請金額
1	加治屋元気クラブ	輪投げ・卓球・健康麻雀	50,000円
2	より愛ひろば	ささえあいサロン活動	50,000円
3	カラオケ会	居場所活動	50,000円
4	PPKKの会	高齢者の居場所活動	50,000円
5	言ノ葉喫茶	おしゃべりカフェ	50,000円
6	野崎ニュータウンふれあい・ミニ	ふれあい・ミニサロン	50,000円
7	薄葉団地お茶ラカ会	薄葉団地お茶ラカ会	50,000円
8	寿会	施設訪問による慰問	50,000円
9	おひさまの会	佐良土小学校訪問による読み聞かせなどの参加	50,000円

令和3年度に事業に取り組んだ団体

No.	団体名	申請事業	助成金額
1	佐久山地区外出支援事業	佐久山地区外出支援事業	50,000円
2	いずみの会	施設訪問による交流ととんぼだんごづくり	50,000円
3	おひさまの会	佐良土小学校絵本読み聞かせ・クリスマス会	50,000円
4	富士見ハイツ自治会	高齢者を対象とした食事会	50,000円
5	紫塚ニュータウン自治会 (べっぴんさー9る)	紫塚ニュータウンほほえみ事業	50,000円
6	一般社団法人えんがお	えんがおベンチプロジェクト	50,000円
7	スマイルハウスボランティア会	ひとり親・生活困窮者への食事提供	50,000円

○赤い羽根共同募金配分計画の変更について

新型コロナウイルス感染の影響が長期化するなかで、予定していた事業の縮小等により生じた配分金の残を有効活用するため、下記の新規事業を行いました。両事業ともコ

コロナ禍による単年度事業として実施しています。計画の変更については県共同募金会と相談し、配分金が地域に還元される内容で取り組んでいます。

(1) 思い出応援キャンペーン with 赤い羽根共同募金おおたわら

新型コロナウイルスの影響により、学校生活が制限され、楽しみにしていた学校行事が中止になったことで、児童・生徒の皆さんが思い出を作る機会が減ってしまいました。このような状況にも負けず、頑張っている児童・生徒の皆さんの笑顔あふれる思い出作りを、赤い羽根共同募金を活用し地域の皆さんと応援することを目的として事業を行いました。

事業実施校一覧

	学校名	事業内容	助成金額
1	川西小学校	「思い出作り事業（スクラップブック教室）の開催」	30,000円
2	蛭田小学校	思い出作り旅行（修学旅行）	30,000円
3	親園中学校	3年生を送る会	30,000円
4	湯津上小学校	地域学校農園看板製作	30,000円
5	野崎中学校	3年生を送る会	30,000円
6	大田原小学校	6年生思い出作りウォークラリー	30,000円
7	若草中学校	卒業生を送る会	30,000円
8	須賀川小学校	思い出づくり事業	26,000円
9	佐良土小学校	地域交流事業「みんなの夢をのせて～風揚げをしよう」	30,000円
10	金田北中学校	立志式	30,000円
合計			296,000円

(2) コロナに負けるな！ささえ愛きずなセット年末配布会

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、経済的な困窮から食べ物や生活用品が十分に確保できない方々がいます。地域の支え合いで、みんなでコロナ禍を乗り越えていこうという想いから、赤い羽根共同募金の配分金事業より「ささえ愛きずなセット」配布会を行い、地域とのつながりを感じながら健やかに新年を迎えていただくことを目的に実施しました。

全 179 セットを配布し、赤い羽根共同募金から 224,000 円を助成しました。

3 その他

(1) 経営理念の策定について

本会の経営理念について、下記のとおり策定作業を行いました。

- 目的 大田原市社協の将来に向けて、組織として明確な理念を策定し、社協が目指す方向性や存在意義を地域住民に示し、地域からの信頼関係を高められるよう進めた。
- 策定方法 社協組織を横断したプロジェクトチーム（メンバー 6 名）により会議を開催し、社協職員全員で令和 3 年度事業評価作業及び令和 4 年度に向けた事業検討会と連動した取り組みを行った。
- 内容 (1)プロジェクトチーム会議開催（5 回）

(2)職員勉強会の開催 (経営理念について、財政について)

①令和4年2月9日(水)

②令和4年3月7日(月)

(3)策定された経営理念の進め方の検討会開催 など

(2) 被表彰者について

(敬称略)

◎栃木県社会福祉協議会会長表彰

令和3年8月23日(月)第27回栃木県民福祉のつどい

民生委員・児童委員功労者

川永 幸男、川上 清、小野崎 美知子、益子 充夫、渡邊 和子、小林 将俊、
大塚 加代子、石嶋 マス、唐橋 洋子

社会福祉法人・社会福祉施設・社会福祉団体関係功労者

那須愛恵苑 星 将希

相談支援事業所ふるさとホーム那須 星 光代

特別養護老人ホーム晴風園みどりの郷 印南 早貴、渡邊 祐司

大田原市社会福祉協議会 川上 諭優

優良施設、団体等表彰

湯津上地区社会福祉協議会

コスモスグループ

須賀川ボランティア

◎栃木県知事表彰

令和3年8月23日(月)第27回栃木県民福祉のつどい

ボランティア功労

佐久山地区社会福祉協議会

野崎地区社会福祉協議会

親園地区社会福祉協議会

實 壽夫

社会福祉施設・団体又はその従事者

大田原市社会福祉協議会 田代 理恵子

◎栃木県共同募金会会長表彰

令和3年8月23日(月)第27回栃木県民福祉のつどい

榎本 正之、三浦 茂子、木下 文雄、益子 肇、
斎藤 光晴、郡司 英俊、平久江 徳昭

◎大田原市社会福祉協議会会長表彰

令和3年10月20日(水)

地域福祉功労

鈴木 和江、益子 悦子、加藤 ハツイ、花塚 光明、大森 房江
ボランティア功労
世代間交流喫茶「いってみっけ」